

ハラゴミツレハして歩くのだ。

かもめ食堂

小林聡美 片桐はいり もたいまさこ ヤルッコ・エエミ タリア・マルクス マルック・ペルトラ

原作:群ようこ(知冬舎刊) 脚本・監督:荻上直子 エグゼクティブ:井上陽水「クレイジーラブ」(フォーライフミュージックエンタテイメント)
企画:高澤花子 制作:日本テレビ バック:知冬舎 ショッピング:ホレイション エグゼクティブ:カブエ・メディア・スーツ プロデューサー:小室秀一 天野真月
ラインプロデューサー:ティン・オキ・ワイルダネン 撮影:トウキョウ・ワイルダネン 音楽:近藤達郎 編集:青柳信一 スクリプター:山縣有希子
美術:アンニカ・ヴィルケマン スタylist:尾越絹衣 ヘアメイク:宮崎智子 フードスタイリスト:飯島奈美 写真:高橋ヨーコ
コミュニケーションデザイン:太田恵美 後援:フィンランド政府観光局(MEK) 協力:フィンランド航空 フィンランド大使館



iifala



marimekko



www.kamome-movie.com



ruokala lokki

かもめ食堂。
それはフィンランドの
ヘルシンキにありました。

ハラゴシラエして歩くのだ。

「ここならできると思ったんです。ここだったら、私にもできるかなって」

かもめ食堂。

それは、ヘルシンキの町角にある食堂でした。

ここをこめた「いらっしやいませ」と、おにぎりと。

毎日ふつうで、おいしくて、

小さいけれど堂々としていました。

猫を預かってしまったので、帰れなくなりました

毎日まじめにやってそれでもダメなら、その時はその時。やめちゃいます。でも大丈夫!

世界地図を開いて、目をつぶって、えい!って指さしたところがフィンランドだったんです



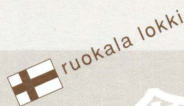
ミドリ
(片桐はいり)



サチエ
(小林聡美)



マサコ
(もたいまさこ)



かもめ食堂

ぶっくり太ったカモメたちがユルリと青空を飛ぶ、北欧の港町ヘルシンキ。その町の片隅に小さな食堂がひっそりとたたずんでいる。日本人女性サチエが店主をつとめるかもめ食堂の看板メニューは、おにぎり。純朴で心豊かなヘルシンキの人々に純朴にだけおいしい日本の「おにぎり」を食べてもらいたい。そんな願いを込めて、サチエは今日もアツアツのご飯を握るけれど、客といえど日本おたくのフィンランド人青年トンミくらいなもの。それでもめげないサチエのかもめ食堂に、訳あり気な女二人がやってきた。

www.kamome-movie.com

原作は人気作家の群ようこ、3人の実力派女優が共演

この作品のためにフィンランドを舞台にしたオリジナル・ストーリーを書き下ろしたのは、群ようこ。「無印OL物語」など「無印シリーズ」や、「ヤマダ一家の辛抱」など、何気ない日常を鋭い観察眼で切り取った小説やエッセイで、幅広い女性に支持される作家が、またひとつ、観る者にも元気を与えてくれる新しい物語を産み出しました。サチエ役に小林聡美、そして彼女と知り合う日本人旅行者役にもたいまさこ、片桐はいり。2003年の日本テレビ系連続ドラマ「すいか」でも共演を果たした3人。ドラマ舞台から映画と幅広く活躍する3人の女優達が、豊かな自然に囲まれた異国の地でゆるやかに暮らす、愛すべきヒロイン達を好演しています。

新鋭・荻上直子監督の待望の第3作、邦画初のオール・フィンランド撮影

メガホンをとるのは、長編デビュー作「バーバ・吉野」で2004年ベルリン国際映画祭児童映画部門特別賞を受賞した、注目の女性監督、荻上直子。登場人物への温かいまなざし、清涼感溢れる作品を生み出してきた彼女は、今回、全編フィンランドロケに挑戦。キャスト、カメラから美術にいたるまで現地スタッフとの共同作業となりました。フィンランドといえば、巨匠アキ・カウスマキの母国。『過去のない男』（2003年アカデミー賞外国映画賞受賞）で主演をつとめたマルク・ベルトラが出演。エンディングテーマは、井上陽水。さらに、日本でもお馴染みのiittalaの食器やartekの家具などが使用されていて、シンプル&モダンな北欧インテリアも見所の一つとなっています。

2006年春 おいしくロードショー

特別鑑賞券絶賛発売中 一般¥1,500/ペア¥2,800(当日一般¥1,800(税込)の処)

劇場窓口で
お買求めの方に限り、
素敵なプレゼント付き。
お楽しみに!

銀座4丁目交差点 和光ウラ通り

シネスイッチ銀座

03 (3561) 0707 www.cineswitch.com